

## (一社) 東京都ホッケー協会 第2回連絡会 報告

日時： 2020年2月16日 10:00-12:00

場所： 品川総合体育館 B1F 会議室

出席者： THA 正会員 53 チーム (全 62 チーム中、ただし、重複出席者や複数名の出席チームがある)、  
THA 役員 11 名 (14 名中)、THA 委員 3 名、出席者実人数 53 名

議事：

### 1. 和田会長挨拶

(はじめに)

2018年11月に任意団体「東京ホッケー協会」から「一般法人東京都ホッケー協会」になりました。この目的とする所は法人化することにより、「コンプライアンスの実践、ガバナンスの強化、財務基盤の確立」がなされ、法人として社会から信頼を受ける団体になることです。この結果東京都或いは品川区等からの交付金・助成金、スポンサーからの協賛金もスムーズに受けられることとなりました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

設立当初より、「規約に則り、会員全員の参加で運営していく開かれた協会」のスローガンの下に、次の3つの目標を掲げました。

- ① 競技人口を増やす
- ② 大きな大会を運営する
- ③ 強いチームを作る

それぞれ下記の成果を上げ、今年はオリンピックを迎えます。THAとしてはオリンピックを盛り上げると同時にホッケーの仲間を増やし、次の時代へ繋げることが急務となります。

(2019年の総括)

#### ① 「競技人口を増やす」

スティックを持ったことが無い方に対して「ホッケー体験教室」を通じて小学校のグラウンドで60回開催(品川、大田区)駒沢での教室或いは市民のイベント大会を含めると1万人以上の子供たちにスティックを握ってもらう事ができました。又、ホッケーを親しんだ事のある方には再びスティックを握っていただくために「シニア&レディーズ大会」や「M&Lリーグ」を企画し、ホッケーを生涯スポーツへと導くことが出来ました。

#### ② 「大きな大会を運営する」

駒沢第一球技場、大井ホッケー場でHJLの決勝等を主管しました。主管としての役目は果たせたと思っておりますが、未だ不十分で多くの問題点があります。しかし、集客に努め多くの観客の方に来ていただき、ホッケーを初めて観る方から「ホッケーがこんなに面白いスポーツだとは知らなかった!」と言っていただけたのは大変うれしい事でした。

#### ③ 「強いチームを作る」

総監督以下、各種別の監督、コーチ、サポーターの熱心な協力で現在の持てる力は十分発揮してくれたと思っておりますが、残念ながら本選出場はできませんでした。

これらの事業を実施した結果、同時にいろいろと問題点、課題が見えてきました。これらを解決或いは改善・発展させていくためには新しいフェーズに、考え方・組織を変更したいと考えています。

## (課題と目標)

### ① 「競技人口を増やす (普及推進)」

「シニア&レディーズ大会」と「M&Lリーグ」をもっと発展させるとして「ホッケー体験教室」は品川区の援助がオリンピック後も今まで通りになるのか心配です。今ある少年団チーム「品川2020」「Keio Hockey School」及び誕生間近の「駒沢ホッケークラブ」をしっかりと育成していきたい、更にもっとジュニアクラブチーム作りを支援したいと考えています。

### ② 「強いチームを作る (国体強化)」

少年男子・女子については監督・コーチ陣の努力でレベルアップがなされ、東京チームとして基礎固めが出来てきたと思いますが、本選出場にはまだまだです。しかし、成年男子・女子はあと一歩まで来ましたが国体出場に至っていません。今後は今までの基盤を保ちながら、新しい監督を選出し脱皮を図りたいと思っています。

### ③ 「大きな大会を運営する (大会運営)」

主催・主管の役割をしっかり JHA 等とも打合せをし、主要大会毎に予め年度当初より「実行委員長」を決め、同時に大会スタッフが集まりやすい仕組みづくりを行い、大会運営マニュアル整備する等集まったスタッフの方に働きやすい体制を構築します。言うまでもなく大会開催前のイベント広報、サポーター確保、チケット販売を行う企画する機能を備え、又、競技委員、審判員との連携もしっかりとれる組織にしていきます。

そしてこの①②の流れを体験教室—少年団—少年国体—成年国体へと繋げ、将来はこの中から日本代表選手を輩出し、東京都として応援できるチームにし、③の大会運営を立派に出来るようになり、観に来てくれた子供たちが体験教室に参加してくれる、好循環が生まれることを期待しています。

以上の問題点、課題を解決する為にその構想、組織について以下、詳細説明を行います。

(以下、詳細については添付のスライドをご覧ください。事とし、要旨・補足すべき点のみ記します。)

## 2. 五輪後を見据えた THA の役割・組織 (多気理事)

- ・ JHA は「大井存続プロジェクトを作り、五輪後もホッケー場として残すことに注力している。
- ・ この中で「大会」「チーム」「地域」の一体となった活動の重要性を謳っている。
- ・ これを受けて大会＝大会運営、地域＝普及推進、チーム＝国体強化に再編し、事業部会としたい。
- ・ 大会運営のスタッフ登録を是非お願いしたい。 (具体的な方法については別途連絡する。)
- ・ ジュニアチーム (少年団) の立上げに熱意のある方は是非手を挙げていただきたい。
- ・ コーチ1の講習会を開催するので、是非取得していただきたい。

## 2. 法人概況について (一川事務局長)

- ・ 定時総会を6月に予定しており、日時はJHA 総会日程を確認の上決定したい。
- ・ 2020年度のTHA正会員登録を定款の定めにより4月末までをお願いしたい。
- ・ 定時総会では理事選任が議案となるので、理事候補者の推薦をお願いしたい。
- ・ 2019年度事業収支は概ね予算通り推移する見通しである。
- ・ 2020年度は五輪関連の体験教室が縮小され、大会開催数も少なく、予算規模は縮小される見込み。
- ・ 「ホッケー教室」開催を増やしたいが、1回3～5万円の持出しで、その財源確保が必須である。

## 3. 賛助会員のお願い (正田副会長)

- ・ 前回の定時総会において賛助会員制度の設立をご承認いただき、賛助会員を募っている。
- ・ 今後賛助会員の応募される方については納付いただく会費は2020年度分として扱う。
- ・ 賛助会員の皆様には毎年数回、「Tokyo Hockey Family News」を送付させていただく。
- ・ 2020年度の賛助会費使途としては、「体験教室」から「少年団」設立に向けての活動に充てたい。

(2020年に開催される大きなイベントとして東京五輪、ワールドマスターズ大会にてついて、東京五輪組織委員会を兼務されている菅野理事、JHA マスターズ部会関谷部会長より情報共有があった。)

#### 4. 東京五輪関連の情報共有 (菅野理事)

- ・ ホッケームーブメントとしてインドア大会 (3/20)、国際大会 (5/17) の案内があった。
- ・ 五輪チケットの今後の入手方法は、2/20 からハガキ抽選→5月から有楽町窓内で販売予定である。
- ・ ホッケー競技を五輪種目として存続させるため、会場を満席にしようとの呼びかけがあった。
- ・ 競技ボランティアの状況について

#### 5. ワールドマスターズ大会の情報共有 (関谷 JHA マスターズ部会長)

- ・ 大会趣旨、大会概要 (11/5~15)、大会運営組織等について報告があった。
- ・ 日程が長く試合数も多く人手を要するので、多数の運営ボランティアにご協力頂きたい。

(当日の質疑応答は以下の通りである。)

Q1 品川区大田区以外の区市から教室開催の要望があった場合、THA としてどのような協力をしてもらえるか

A1 用具の貸出しは可能、指導者を派遣するには予算を確保していただく必要がある。

Q2 駒沢グラウンドの利用方法について教えていただきたい。

A2 土日は優先予約の段階ではほぼ埋まってしまうが、平日は計画的に申し出て頂けると確保可能

Q3 駒沢利用について 6人制のラインを引いてもらえないか、また延長はできないか？  
照明設備の敷設はできないか？

A3 時間延長は大会の場合は日没時まで可能である。

照明敷設、スタンド庇、ベンチ常設日除け、スタンドネット着脱化、製氷機設置、6人制ライン等々を指定管理者には要望しているが、予算、他競技との関係で難しい。

Q4 FC 東京の女子サッカーチームが大井を利用するという情報があるが掴んでおられるか？

A4 こちらははまだその情報がない

Q5 法人格取得で TOTO 助成の申請が可能になったはずだが申請はしたか？

助成金を使える事業を計画してはどうか。

A5 法人化の大きな目的であるが、今年度は具体化が出来ず見送っている。

本日の 2020 年度方針の議論を踏まえ、予算も具体化させたい。

Q6 インドア大会は今後継続的に開催される計画があるか？

A6 JHA と協議中であるが、是非継続させたいと考えている。

Q7 インドア用のスティックは購入できるか？

A7 JHA で 200 本、用意すると聞いている。

(その他連絡事項として THA 市川理事より下記連絡があった。)

- ・ 3/28 9:00~ 品川体育館会議室 (参加費 1000 円) でルール説明会実施予定  
対象はチーム代表者&競技役員とし、学連主催説明会に出席される方は出席不要です。

以上